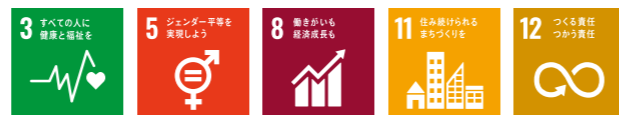


## 特種車両の製作 高品質にこだわった 車両製作・修理



## 株式会社ケイエムオー

伊勢崎市



- ▶ 代表者: 神尾 将光
- ▶ 設立年月日: 1986年
- ▶ 資本金: 1,000万円
- ▶ 従業員数: 21人

- ▶ 住所: 伊勢崎市五目牛町324-5
- ▶ TEL: 0270-63-0332
- ▶ Mail: kmo@gamma.ocn.ne.jp
- ▶ URL: <http://www.kmo-body.co.jp/>

当社HPへは  
コチラから→



### 企業紹介

当社は1986年に創業し、バスの2次架装、リニューアルサービス、メンテナンスの他、レントゲン車、車いす移動車等の特種車両の企画、設計から製作まで社内一貫した工程システムのもとで行っています。

各現場でそれぞれの役割をもって大きな働きをしてくれる「働く車」をメインに製作している企業です。

### 経緯・背景

近年、少子高齢化や地域の過疎化に伴い、「車というモノ」へのニーズの多様化が進んできています。一般的でない車が必要とするマイノリティのお客様も潜在的には多く存在すると思われそうですが、車両メーカーが直接対応するのは困難と考えられます。当社では長年、大型車両の钣金修理とともに、車両の架装による「働く車」の受注生産を精力的に行っており、前述の情勢に対応できる体制をとっています。

### 具体的な取組

お客様のニーズに応じた様々な「働く車」を製作しています。

従来の路線バスでは運行が難しい、住宅地や山間地域のせまい道路に入っていくことができる、小型コミュニティバスを製作しています。また、その車両に車いす乗降用リフトを搭載する等の要望にも応じています。

一方、医療機関や医療機器メーカーからの要望で、医療防疫車を製作しています。医療防疫車は、健康診断・治療等を、受診者が医療機関へ出向かずに近隣で受けることを可能にするものです。当社で長年蓄積してきた技術により、ユニバーサルデザインの低床リチウムイオン電池電源レントゲン車を日本で初めて実現しました。

また、自動運転技術の社会実装を目指した実証実験のため、センサー類や安全装置の架装を、大学や路線バス運行会社との入念な打ち合わせのもとで行っています。

### 成果・効果

小型コミュニティバスにより、バス運行会社の路線設定において、多くの潜在的な利用者の掘り起こしに寄与しています。お客様からの多様な要望に応じてきていることもあってか、自治体・民間企業からの小型コミュニティバスの受注件数が近年増えてきています。

医療防疫車により、医療機関だけでなく、各地域・会社等での集団検診が可能になり、受診者数の増加につながっています。特に、低床リチウムイオン電池電源レントゲン車では、車いすはリフトでなく、スロープでの乗降が可能になり、介助者の負担や作業時間が大幅に低減し、1日あたりの検診件数が従来の2倍以上になりました。また、階段を廃した低床でのスロープ利用は、健康者にとっても高所の恐怖感を低減しているとの声もいただいています。さらに、大容量リチウムイオン電池の利用により、発電機のような騒音や排ガスを出さないため、住宅地等での集団検診の難点が解決されました。

かつて、車いす移動車は車両メーカーから中型・大型も販売されていましたが、近年では小型車だけの販売となっています。また、車いす移動車を利用する施設によって車両に求められる仕様が様々で、量産車での対応が困難な市場でもあります。当社では、長年オーダーメイドの車いす移動車の製作を手掛け、近年特に多様になってきたニーズに応える体制をとっており、マイノリティのお客様にも満足していただいています。

また、当社で架装を行った自動運転車を用いて、社会実装の実証実験が段階的に行われています。現在、公道での路線バス運行が実験段階であり、早期の社会実装が期待されます。



低床リチウムイオン電池電源レントゲン車



自動運転路線バス

### 当社にとってのSDGsと、その展望

車には人や物品の輸送だけでなく、機能を持った「働く車」としてのニーズが今後も期待され、多様性が求められ続けると思われます。当社ではお客様のニーズに細かく応えるため、量産ではない「こだわりの1台」を提供することを通して、社会に貢献していくことが使命と考えています。